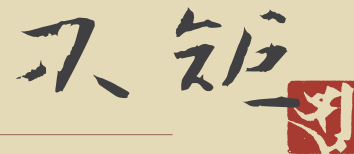


## 2019年度展覧会スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会期	4/2~21	4/27~6/9		6/22~8/4	8/6~9/16							
第1展示室	秋野不矩 制作の現場からⅠ 世界の風景を捉えて	堂本印象 飽くなき創造への挑戦	展示替え・館内くん蒸作業のため休館 (6/10・11・12)	秋野不矩 制作の現場からⅡ 女神たちを捉く章	秋野不矩 制作の現場からⅢ ソンドの日常につづけた美							
第2展示室												
企画展示室												

(注)イベントは都合により変更する場合があります。

美術館  
だより



No.16

秋野不矩美術館だより  
発行日  
2019年3月31日  
編集・発行  
浜松市秋野不矩美術館

特別展

### 堂本印象 ~飽くなき創造への挑戦~

2019年4月27日(土)~6月9日(日)



#### 堂本印象

《乳の願い》1924年  
京都府立堂本印象美術館所蔵



《はるかなる海》1967年  
京都府立堂本印象美術館所蔵

堂本印象(どうもと いんしやう、1891~1975)は、京都において官展を舞台に活躍し、大正・昭和期の美術界を牽引した日本画家です。28歳で帝展初出品初入選を果たしてデビューすると、京都画壇の重鎮・西山翠嶺に師事して瞬時に頭角を現し、風景・宗教・花鳥・風俗など様々な主題に才を見せました。官展審査員歴任、画塾・東丘社の創設、寺院障壁画や皇室献上画といった大事業も手掛け、たちまち画壇の中心的な役割を担っていきます。戦後になると、日本画を取り巻く厳しい情勢の中で西洋美術の研究も踏まえた先鋭的な日本画表現を展開し、社会や時代に即した造形的な作品や抽象表現による日本画作品を発表して、止まることなく常に芸術の新たな可能性を追求しました。1961(昭和36)年には文化勲章を受章、1966(昭和41)年には全て自らのデザインによる美術館を開館するなど、今日につながる芸術分野の振興に実に大きな功績を残しています。

本展では、画業の初期から晩年に至るまでの作品42点により、旺盛な創作活動で20世紀の美術界を常にリードし続けた画家・堂本印象の飽くなき創造への挑戦の過程を振り返ります。

また、特別出品として、西山翠嶺画塾・青甲社と共に研鑽を重ね、新しい日本画の創造にも果敢に挑んだ画家・秋野不矩の作品8点を展示します。

## 市民ギャラリーのご利用を

秋野不矩美術館2階の企画展示室は、美術館が特別展等で使用する期間を除き、皆さんの芸術活動の発表の場(市民ギャラリー)として利用できます。使用料金は1日当たり6,480円(入場料を徴収する場合は19,440円)です。\*

◎2019年度の利用予定は、次のとおりです。(2019年1月現在。展覧会名称は予定。)利用申込みは随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。



市民ギャラリー会場

- 4月2日(火)~4月7日(日) Toyo's幽遊WorldⅡ(絵画)
- 4月9日(火)~4月14日(日) 矢遊会展(絵画・工芸)
- 6月25日(火)~6月30日(日) 第10回天竜日本画同好会展(日本画)
- 7月2日(火)~7月15日(月) 新現代作家美術展(絵画・彫刻・版画・陶芸 他)
- 9月10日(火)~9月16日(月) 孔雀会展(日本画)

※2020年4月以降の利用申込みは、2020年1月5日(日)午前10時から受付開始の予定です。受付初日の午前10時の時点で利用希望日が重複した場合、抽選により決定します。(利用申込み開始日以降は、先着順で随時受け付けます。)  
※展示予定は、予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。  
※使用料金については、2019年中に予定されている消費税率の引き上げに伴い、今後改定される場合があります。

## 美術館友の会のご案内

浜松市美術館友の会は、秋野不矩美術館と浜松市美術館共通の友の会です。美術という共通の趣味を通じての会員間の交流や、両美術館及び県内提携美術館の入館料割引、美術鑑賞旅行などさまざまな特典があります。ぜひご入会ください。

申込書は秋野不矩美術館と浜松市美術館にあり。

◎会費年額 3,000円(大人・正会員)

※2019年度は、浜松市秋野不矩美術館の設備更新工事による休館期間があるため、通常年度とは異なる金額となります。

◎提携美術館 静岡県立美術館、  
佐野美術館(三島市)、駿府博物館(静岡市)、  
掛川市二の丸美術館、平野美術館(浜松市)

## 美術館ボランティアのご案内

秋野不矩美術館では、館の活動の紹介や周辺地域の案内、館内外の美化・環境整備など、美術館運営のお手伝いをしていただくボランティアを募集しています。文化勲章受章の荣誉に輝いた天竜地域出身の画家・秋野不矩画伯の芸術を広める美術館の活動に参加してみませんか?

詳しくは、秋野不矩美術館までお問合せください。

秋野不矩美術館開館20周年記念  
茶室「望矩楼」完成！

2018年8月

昨年度は、1998（平成10）年に秋野不矩美術館が開館してから20周年となる節目の年でしたので、年間を通じて様々な記念企画を催し、多くのお客様にご観覧いただきました。

2018（平成30）年8月4日（土）～9月17日（月）に開催した特別展「藤森照信 展」では、秋野不矩美術館の設計者である建築家・藤森照信さんの建築設計の仕事を紹介する展示を行いました。この機会に、藤森さんの設計による新作茶室を制作し、屋外展示する試みを実施しました。

美術館前の高台に3本脚の茶室を建てるアイデアが構想され、2018年6月より実際に制作が始まりました。茶室の本体部分には天竜産の杉、脚には天竜産の松を使用し、屋根や外壁に用いる銅板は近隣の小中学生が藤森さんから直接指導を受けながら手曲げして、高校生や有志の方々によって取り付けられました。その他、材料調達や現場の施工管理には地元業者の協力も得ながら、地域の皆さんの力を借りて無事完成させることができました。

高台の上にそびえ立つ全高約6mにも及ぶこの茶室は、「望矩楼」と名付けられ、その名前のごとく、秋野不矩美術館の全景を見渡すことができる造りとなっています。藤森さんによると、設計の段階では特に具体的なイメージを与えずに構想したとのことですが、制作の途中、茶室の形を見て「イノシシ」のようだと言えました。藤森建築は自然素材が多く使われることに特色がありますが、自然豊かな天竜の地で、図らずも茶室の意匠も周囲の自然と調和したものになりました。今年2019年は亥年ですので、この個性的な茶室を新たな見どころに加えて、秋野不矩美術館の活動もイノシシのようにまっすぐ突き進んでいきたいと思っております。



※茶室「望矩楼」の内部は一般公開しておりません。外観のみご覧いただけます。また、美術館2階に茶室制作時の試作模型を展示していますので、こちらも併せてご覧ください。



## 休館のお知らせ

2019年9月17日（火）～2020年4月（予定）

この度、秋野不矩美術館では、空調機器など館内設備の更新工事を行うため、2019年9月17日（火）から約半年間休館します。

再オープンには2020年4月を予定しております。詳細な日程は2020年3月下旬頃に秋野不矩美術館だよりや当館ホームページ等で追ってお知らせしますので、ご不便をお掛けしますがご理解の程お願い申し上げます。

## 所蔵品展のご案内

所蔵品展では、各回のテーマに沿って秋野不矩の画業を紹介し、また、画業後半期のライフワークであったインドを描いた作品を、併せて展示します。

### 2019年度 所蔵品展

当館には秋野不矩の日本画作品（本画）のほか、素描・下図も多数収蔵されています。本制作につながる土台として下図や、再構成を行う前段階の緻密な写生が見られるもの、モチーフの細部を様々な角度から写し取った下書きまで、多彩な顔ぶれの作品を所蔵しています。本年は秋野不矩の制作の一端をより深くご覧いただけるよう、当館所蔵の本画とともに、制作の基礎となった素描・下図を幅広く紹介します。

#### 第1回

### 秋野不矩 制作の現場からⅠ～世界の風景を訪ねて～ 4月2日（火）～4月21日（日）

本展では、54歳で初めてインドを訪れて以降、同国を中心に世界各地を旅した秋野不矩の海外取材に基づく風景作品と、関連する素描等を展示します。

また、「秋野不矩—あふれる生命の輝き」展の巡回先である田辺市立美術館（和歌山県）のコレクションから、田辺市ゆかりの禪田一穂を始めとする、新しい日本画の創造に挑んだ近現代の日本画家たちの作品を特別出品します。



（海辺のコッケー）1984年



（ナヴァグラハ（九曜星））1991—1992年

#### 第2回

### 秋野不矩 制作の現場からⅡ～女神たちに捧ぐ筆～ 6月22日（土）～8月4日（日）

本展では、画業前半期に取り組んだ人物画から女性像を描いた作品を展示するほか、後半期に取り組んだインド主題の制作から、現地の人々の崇敬を集める女神の像や信仰とともに生きるインドの女性たちを描いた作品を中心に展示します。



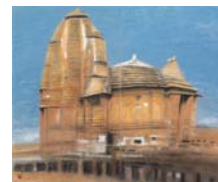
（女神ヤクシニー）1980年



（地の祈り）1987年

#### 第3回

### 秋野不矩 制作の現場からⅢ～インドの日常に見つけた美～ 8月6日（火）～9月16日（月）



（ラージャラーニー寺院Ⅰ）1995年



（土の家C）1987年

本展では、画業後半期に取り組んだインドを描いた作品群より、民家や寺院など現地の人々の生活に根差した場所を取材した制作を中心に、インドの日常の光景に美を見出した秋野不矩の創作活動における特徴的な視点を示す作品を展示します。

※掲載の作品はいずれも本画です。